

学 会 等 発 表 実 績

委託業務題目

「アジアの感染症担当研究機関とのラボラトリーネットワークの促進と共同研究体制の強化に関する研究」

機関名：国立感染症研究所

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
WHO Collaborating Centre for Virus Reference and Research (Enteroviruses). (Poster).	Shimizu H.	The First Regional Forum of WHO Collaborating Centres in the Western Pacific, Manila, the Philippines,	13-14 November, 2014	国外
Molecular basis of virus-host interaction and pathogenesis of enterovirus 71 infection.	Shimizu H.	Monto Ho Memorial Lectures on Enterovirus 71, 2014 International Symposium on Infectious Disease and Signal Transduction, Tainan, Taiwan,	2 November, 2014	国外
The molecular basis of the interaction between EV71 and PSGL-1 from structural and functional standpoints.	Shimizu H.	TLL Seminar, Temasek Life Science Laboratory, Singapore,	25 September, 2014	国外
Structural and functional basis of the interaction between enterovirus 71 and a cellular receptor, PSGL-1.	Shimizu H.	Protein Island Matsuyama International Symposium, Matsuyama, Ehime,	17 September, 2014	国内

Virology of Enterovirus 71.	Shimizu H.	JICA Training Workshop on Biosafety and HFMD Laboratory Diagnosis, Hanoi, Viet Nam,	14-18 July 2014	国外
Overview of hand, foot, and mouth disease and enterovirus infections.	Shimizu H.	JICA Training Workshop on Biosafety and HFMD Laboratory Diagnosis, Hanoi, Viet Nam,	14-18 July 2014	国外
新生児重症感染を惹起したコクサッキーウイルスB2型の性状解析.	吾郷昌信、 北川由美香、 松本文昭、 吉川亮、 陣内久美子、 森内浩幸、 永田典代、 清水博之、 森田交一.	第62回日本ウイルス学会学術集会. 横浜市	11月10~12日、 2014	国内
ヒトパレコウイルス (HPeV) 3型の増殖機構の解析.	町田早苗、 清水 博之.	第62回日本ウイルス学会学術集会. 横浜市	11月10~12日、 2014	国内
ウイルス受容体特異性を応用したポリオウイルス直接検出法の開発.	中村 朋史、 有田 峰太郎、 清水 博之.	第62回日本ウイルス学会学術集会. 横浜市、	11月10~12日、 2014	国内

<p>カニクイザルを用いた Saffold virusの神経病原性の病理学的解析.</p>	<p>小谷治、 藤井健、 鈴木忠樹、 岩田奈織子、 網康至、 須崎百合子、 長谷川秀樹、 田口文広、 清水博之、 永田典代.</p>	<p>第62回日本ウイルス学会学術集会. 横浜市、</p>	<p>11月10～12日、 2014</p>	<p>国内</p>
<p>エンテロウイルス71のカニクイザルにおける病原性の解析.</p>	<p>片岡周子、 西村順裕、 鈴木忠樹、 小谷治、 岩田奈織子、 永田典代、 網康至、 清水博之.</p>	<p>第62回日本ウイルス学会学術集会. 横浜市</p>	<p>11月10～12日、 2014</p>	<p>国内</p>
<p>コクサッキーウイルスB2型垂直感染による新生児重症感染例.</p>	<p>吾郷昌信、 陣内久美子、 高柳俊光、 森内浩幸、 清水博之</p>	<p>第55回日本臨床ウイルス学会. 札幌市</p>	<p>6月14日～15日、 2014</p>	<p>国内</p>
<p>兵庫県で脳炎を引き起こしたエンテロウイルス71 (EV71)の分子疫学</p>	<p>藤本嗣人、 花岡希、 藤巻明日香、 萩美貴、 清水博之</p>	<p>第55回日本臨床ウイルス学会. 札幌市</p>	<p>6月14日～15日、 2014</p>	<p>国内</p>
<p>小児用肺炎球菌結合型ワクチンPCV7 導入が小児侵襲性肺炎球菌感染症へ及ぼす影響の細菌学的解析。</p>	<p>常彬</p>	<p>第88回日本感染症学会学術講演会、第62回日本化学療法学会総会合同学会、</p>	<p>2014年6月</p>	<p>国内</p>

<p>2007年以前の国内野生動物における重症熱性血小板減少症候群ウイルス（SFTSV）に対する抗体調査</p>	<p>堀田明豊、 木村昌伸、 坪田敏男、 中村幸子、 片山敦司、 中下留美子、 猪島康雄、 鈴木道雄、 今岡浩一、 棚林清、 藤田修、 山本美江、 宇田晶彦、 森川茂。</p>	<p>第157回日本獣医学会 学術集会、北海道</p>	<p>2014年9月9日- 12日</p>	<p>国内</p>
<p>ニホンジカから採取したマダニ類のウイルス遺伝子保有状況からみた自然界におけるSFTSウイルス維持様式の検討</p>	<p>藤田修、 宇田晶彦、 木村昌伸、 藤田博己、 今岡浩一、 森川茂。</p>	<p>第157回日本獣医学会 学術集会、北海道</p>	<p>2014年9月9日- 12日</p>	<p>国内</p>
<p>野生のシカにおけるSFTSウイルス抗体調査</p>	<p>森川茂、 木村昌伸、 堀田明豊、 加来義浩、 朴ウンシル、 鈴木道雄、 野口章、 井上智、 今岡浩一、 前田健。</p>	<p>第157回日本獣医学会 学術集会、北海道</p>	<p>2014年9月9日- 12日</p>	<p>国内</p>

<p>野生動物におけるSFTSウイルス感染の疫学調査</p>	<p>浜崎千菜美、 鍬田龍星、 野口慧多、 寺田豊、 下田宙、 高野愛、 鈴木和男、 森川茂、 前田健。</p>	<p>第157回日本獣医学会 学術集会、北海道</p>	<p>2014年9月9日- 12日</p>	<p>国内</p>
<p>SFTS ウイルスの生活環における野生のシカ役割</p>	<p>森川茂、 朴 ウンシル、 今岡 浩一、 前田 健、 宇田 晶彦。</p>	<p>第62回日本ウイルス学会学術集会、神奈川</p>	<p>2014年11月10- 12日</p>	<p>国内</p>
<p>重症熱性血小板減少症候群ウイルスの分子系統学的特徴とその地理的分布</p>	<p>西條政幸、 吉河智城、 福士秀悦、 谷英樹、 福間藍子、 谷口怜、 須田遊人、 Harpal Singh、 前田健、 高橋徹、 森川茂、 下島昌幸。</p>	<p>第62回日本ウイルス学会学術集会、神奈川</p>	<p>2014年11月10- 12日</p>	<p>国内</p>

<p>SFTS ウイルスの生活環における動物の重要性</p>	<p>前田健、濱崎千菜美、下田宙、鎌田龍星、野口慧多、米満研三、高野愛、鈴木和男、森川茂.</p>	<p>第62回日本ウイルス学会学術集会、神奈川</p>	<p>2014年11月10-12日</p>	<p>国内</p>
<p>重症熱性血小板減少症候群ウイルスGP の細胞融合能と25-hydroxycholesterol による感染阻害効果</p>	<p>谷英樹、谷口怜、福岡藍子、福士秀悦、森川茂、下島昌幸、西條政幸.</p>	<p>第62回日本ウイルス学会学術集会、神奈川</p>	<p>2014年11月10-12日</p>	<p>国内</p>
<p>Severe fever with thrombocytopenia syndrome virus in domestic and wild animals in Japan.</p>	<p>Shigeru Morikawa, Masanobu Kimura, Shuetsu Fukushi, Aiko Fukuma I Yoshihiro Kaku, Unsil Paku, Hideki Tani I Tomoyuki Yoshikawa, Koichi Imaoka, Masayuki Shimojima, Masayuki Saijo, Ken Maeda.</p>	<p>XVIth International Congress of Virology, Montreal (Canada)</p>	<p>27July- 1Aug 2014</p>	<p>国外</p>

<p>Development of IFA and ELISA to detect antibodies against SFTSV.</p>	<p>Aiko Fukuma, Shuetsu Fukushi, Hideki Tani, Tomoki Yoshikawa, Satoshi Taniguchi, Momoko Ogata, Masayuki Shimajima, Shigeru Morikawa, Masayuki Saijo.</p>	<p>XVIth International Congress of Virology, Montreal (Canada)</p>	<p>27July-1Aug 2014</p>	<p>国外</p>
<p>Analyses of cell entry of severe fever with thrombocytopenia syndrome virus using pseudotype vesicular stomatitis virus system.</p>	<p>Hideki Tani, Masayuki Shimajima, Shuetsu Fukushi, Tomoki Yoshikawa, Aiko Fukuma, Satoshi Taniguchi, Momoko Ogata, Shigeru Morikawa, Masayuki Saijo.</p>	<p>XVIth International Congress of Virology, Montreal (Canada)</p>	<p>27July- 1Aug 2014</p>	<p>国外</p>

<p>Severe fever with thrombocytopenia syndrome virus in ticks in Japan.</p>	<p>Akihiko Uda, Hiroki Kawabata, Shuetsu Fukushi, Yoshiharu Kaku, Masayuki Shimojima, Shuji Ando, Ken Maeda, Hiromi Fujita, Masayuki Saijo, Shigeru Morikawa, Tomoyuki Yoshikawa, Aya Niikura, Sawabe Kyoko.</p>	<p>XVIth International Congress of Virology, Montreal (Canada)</p>	<p>27July- 1Aug 2014</p>	<p>国外</p>
<p>Severe fever with thrombocytopenia syndrome virus in animals and ticks in Japan.</p>	<p>Shigeru Morikawa, Akihiko Uda, Masanobu Kimura, Kawabata, Hiroki, Shuetsu Fukushi, Aiko Fukuma, Yoshihiro Kaku, Unsil Paku, Hideki Tani, Tomoyuki Yoshikawa, Aya Niikura, Shuji Ando, Sawabe Kyoko, Hiromi Fujita, Koichi Imaoka, Masayuki Shimojima, Masayuki Saijo, Ken Maeda.</p>	<p>The 10th China-Japan International Conference of Virology, Changchun, China</p>	<p>Aug25-28 2014</p>	<p>国外</p>

ニシ貝を原因食品とするナグ ビブリオによる食中毒の事例 解析	佐々木麻里、 成松浩志、 緒方喜久代、 荒川英二、 森田昌知、 泉谷秀昌、 大西真	第48回腸炎ビブリオシ ンポジウム、函館	2014年	国内
Re emerging dengue in Japan 2014.	Tomohiko Takasaki	The 8th Korea-Japan- China for communicable disease control and prevention. (The Lotte Hotel, Jeju, Korea)	Nov.26, 2014.	国外
Re-emerging dengue in Japan: Where do we stand today?	Tomohiko Takasaki.	17th International Conference on Emerging Infectious Diseases Taipei, Taiwan,	27-29 Jun 2015	国外
黄熱ワクチンとデングワクチ ン.	高崎智彦	第25回トラベラーズワ クチンフォーラム研修 会、東京都	2014年2月22日	国内
黄熱ワクチンとデング熱ワク チン.	高崎智彦	第11回渡航医学実用セ ミナー「海外赴任前健 康ガイダンス」、東京 都	2014年6月30日	国内
デング熱 国内感染の流行を どう受け止めるか	高崎智彦	日本記者クラブ。(東 京都、日本プレスセン タービル)	2014年9月12日	国内

海外で流行する昆虫媒介性ウイルス感染症とデング熱国内流行（特別講演）	高崎智彦	平成26年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部ウイルス部会研究会	2014	国内
デング熱国内発生への対応ーデング熱の基礎と疫学ー	高崎智彦	第46回日本小児感染症学会、東京	平成26年10月18 ー19日	国内
緊急企画：70年を経ての再来ーデング熱国内流行2014.	高崎智彦	第57回日本感染症学会 中日本地方会学術集会、岡山市	平成26年10月23 ー25日	国内
緊急報告「デング熱ー今年の国内流行」	高崎智彦	第62回日本ウイルス学会学術集会、横浜市	平成26年11月10 ～12日	国内
Demonstration of common marmosets (<i>Callithrix jacchus</i>) as a non-human primate model for dengue vaccine development.	MoiMeng Ling, 白井顕治、 網康至、 宮田幸長、 林昌宏、 須崎百合子、 北浦一孝、 西條政幸、 鈴木隆二、 倉根一郎、 高崎智彦	第62回日本ウイルス学会学術集会、横浜市	平成26年11月10 ～12日	国内

デング1型ウイルスの遺伝子型がヒトにおける中和・増強抗体応答に及ぼす影響.	山中敦史、 Moi Meng Ling、 高崎智彦、 倉根一郎、 鈴木亮介、 小西英二.	第62回日本ウイルス学会学術集会、横浜市	平成26年11月10 ～12日	国内
FcγR発現細胞を用いた新規中和アッセイにて日本脳炎ワクチン接種者におけるデングウイルスに対する中和・感染増強能の検討.	齋藤悠香、 Moi Meng Ling、 竹下望、 林昌宏、 司馬肇、 細野邦昭、 西條政幸、 倉根一郎、 高崎智彦.	第62回日本ウイルス学会学術集会、横浜市	平成26年11月10 ～12日	国内
デング熱から身を守るために～忍び寄る地球温暖化～	高崎智彦	川崎市地球温暖化防止活動推進センター主催 (東京都多摩市)	平成26年11月16日	国内
市民公開講座 デング熱これからどうなる？	高崎智彦	日本獣医学会 公衆衛生分科会主催 (東京、日本獣医生命科学大学)	平成26年12月1日	国内
デング熱国内感染と海外の対応	高崎智彦	日本旅行医学会 第8回看護部会セミナー (東京 東医健保会館)	平成26年12月13日	国内
デング熱国内流行 ～70年の時を経て～ (特別講演)	高崎智彦	第21回リケッチア研究会 (東京 国立感染症研究所)	平成26年12月20 -21日	国内

デング熱・チクングニア熱など蚊媒介性ウイルス感染症	高崎智彦	平成26年度阪神地区感染症懇話会（大阪市大阪府病院年金会館）	平成27年1月26日	国内
Bordetella pertussis fimbriae are regulated by BvgAS system and Pfim structure.	大塚菜緒, 柴山恵吾, 蒲地一成	第88回日本細菌学会総会, 岐阜	平成27年3月	国内
百日咳類縁菌Bordetella holmesiiの自己凝集抑制因子BipAに関する研究.	平松征洋, 大塚菜緒, 柴山恵吾, 鈴木英里, 渡邊峰雄, 蒲地一成	第88回日本細菌学会総会, 岐阜	平成27年3月	国内
Norovirus molecular evolution and epidemiology	Young-Bin PARK, and Kazuhiko KATAYAMA.	The Eleventh Japan-Taiwan Symposium, Taiwan	2014年9月11日	国外
Bacterial cytoskeleton RodZ and virulence gene expression of Shigella type III secretion system.	Mitobe J, Yamamoto S, Watanabe H, and Ohnishi M.	第87回日本細菌学会総会、タワーホール船堀	2014年3月26-28日	国内

<p>MLVA genotyping and clinical characterization of <i>Leptospira interrogans</i> canine isolates.</p>	<p>水谷麻紀, 小泉信夫, 泉谷秀昌, 川原一芳, 大西真</p>	<p>第88回日本細菌学会総 会, 岐阜市</p>	<p>2015年3月</p>	<p>国内</p>
<p>宿主プロテアーゼTMPRSS2 は、インフルエンザウイルス の生体内活性化酵素である</p>	<p>酒井宏治、 網康至、 田原舞乃、 久保田耐、 安樂正輝、 中島典子、 関塚剛史、 駒瀬勝啓、 長谷川秀樹、 黒田誠、 河岡義裕、 田代真人、 竹田誠</p>	<p>札幌、第157回日本獣 医学会学術集会</p>	<p>平成26年9月</p>	<p>国内</p>
<p>犬ジステンパーウイルスのヒ トSLAM利用に必要な受容体側 の因子</p>	<p>酒井宏治、 關文緒、 田原舞乃、 網康至、 山口良二、 駒瀬勝啓、 竹田誠</p>	<p>札幌、第157回日本獣 医学会学術集会</p>	<p>平成26年9月</p>	<p>国内</p>

<p>宿主プロテアーゼTMPRSS2は センダイウイルスの病原性決 定因子のひとつである</p>	<p>北沢実乃莉、 酒井宏治、 田原舞乃、 安部昌子、 中島勝紘、 網康至、 中島典子、 安楽正輝、 駒瀬勝啓、 長谷川秀樹、 竹原一明、 田代真人、 加藤篤、 竹田誠</p>	<p>札幌、第157回日本獣 医学会学術集会</p>	<p>平成26年9月</p>	<p>国内</p>
<p>野生型イヌジステンパーウイ ルスのヒトSLAM利用能獲得に 必要な変異</p>	<p>酒井宏治、 關文緒、 加納和彦、 網康至、 田原舞乃、 駒瀬勝啓、 前仲勝実、 山口良二、 竹田誠</p>	<p>横浜、第62回日本ウイ ルス学会学術集会</p>	<p>平成26年11月</p>	<p>国内</p>
<p>国内の麻疹排除 (measles elimination) 状況に関する考 察</p>	<p>岡部信彦、 駒瀬勝啓、 砂川富正、 竹田 誠、 多屋馨子、 中野貴司、 蜂谷正彦、 三崎貴子、 吉倉 廣、 渡瀬博敏</p>	<p>福岡、第18回日本ワク チン学会学術集会</p>	<p>平成26年12月</p>	<p>国内</p>

<p>麻疹・風疹に関する最近の国内疫学情報について</p>	<p>多屋馨子、 佐藤弘、 奥野英雄、 新井智、 神谷元、 八幡裕一郎、 伊東宏明、 福住宗久、 砂川富正、 駒瀬勝啓、 竹田誠、 大石和徳</p>	<p>福岡、第18回日本ワクチン学会学術集会</p>	<p>平成26年12月</p>	<p>国内</p>
<p>The host protease TMPRSS2 is essential for influenza A virus pathogenicity</p>	<p>Kouji Sakai, Yasushi Ami, Maino Tahara, Toru Kubota, Masaki Anraku, Noriko Nakajima, Tsuyoshi Sekizuka, Katsuhiro Komase, Makoto Kuroda, Hideki Hasegawa, Yoshihiro Kawaoka, Masato Tashiro, Makoto Takeda</p>	<p>淡路島13th Awaji International forum on infection and immunity</p>	<p>平成26年9月</p>	<p>国内</p>

<p>Pathological Study on the Central Nerve System of ddY Mice Intramuscularly Infected with Street Rabies Virus (1088 Strain).</p>	<p>Park, C.H., Yamada, K., Hassadin, B., Kimitsuki, K., Inoue, S., Nishizono, A.</p>	<p>The U.S.-Japan Cooperative Medical Sciences Program (CMSP) presents the 17th International Conference on Emerging Infectious Diseases (EID). Academia Sinica, Taipei, Taiwan.</p>	<p>26-27 Jan, 2015</p>	<p>国外</p>
<p>Rabies surveillance and contingency actions of ferret-badger rabies in Taiwan, 1999 to 2014.</p>	<p>Chang, S.-S., Tsai, H.-J., Chang, F.-Y., Lee, T.-S., Huang, K.-C., Fang, K.-Y., Wallace, R.M., Inoue, S., Fei, C.-Y.</p>	<p>The U.S.-Japan Cooperative Medical Sciences Program (CMSP) presents the 17th International Conference on Emerging Infectious Diseases (EID). Academia Sinica, Taipei, Taiwan.</p>	<p>26-27 Jan, 2015</p>	<p>国外</p>
<p>A pathological study of the salivary glands of rabid dogs in the Philippines.</p>	<p>Hassadin, B., Kimitsuki, K., Manalo, D.M., Inoue, S., Park, C.-H.,</p>	<p>The U.S.-Japan Cooperative Medical Sciences Program (CMSP) presents the 17th International Conference on Emerging Infectious Diseases (EID). Academia Sinica, Taipei, Taiwan.</p>	<p>26-27 Jan, 2015.</p>	<p>国外</p>

<p>Different intracellular localization of G protein between Kyoto strain (street virus) and CVS-26 strain (fixed virus) was associated with N-glycosylation of G protein at the site of 204.</p>	<p>Hamamoto, N., Uda A., Noguchi, A., Okutani, A., Kaku, Y., Park, C.-H., Morikawa, S., Inoue, S</p>	<p>The U.S.-Japan Cooperative Medical Sciences Program (CMSP) presents the 17th International Conference on Emerging Infectious Diseases (EID). Academia Sinica, Taipei, Taiwan.</p>	<p>26-27 Jan, 2015</p>	<p>国外</p>
<p>狂犬病発病犬の唾液腺に関する病理学的研究。</p>	<p>高橋有里花、 篠崎春美、 矢野川祥子、 君付和範、 Hassadin Boonsriroj、 Daria L. Manalo、 井上 智、 朴天鎬</p>	<p>第157回日本獣医学会 学術集会、北海道大学 高等教育推進機構、札幌市、北海道</p>	<p>2014年9月9日- 12日</p>	<p>国内</p>
<p>狂犬病発病犬の口唇皮膚におけるウイルス抗原の局在と診断的有用性。</p>	<p>篠崎春美、 高橋有里花、 矢野川祥子、 君付和範、 Hassadin Boonsriroj、 Daria L. Manalo、 井上 智、 朴天鎬</p>	<p>第157回日本獣医学会 学術集会、北海道大学 高等教育推進機構、札幌市、北海道</p>	<p>2014年9月9日- 12日</p>	<p>国内</p>

<p>イムノクロマト法をベースにした狂犬病ウイルス中和抗体価迅速検出キットのイヌ血清を用いた多国的評価。</p>	<p>山田健太郎、 渡辺一平、 アハメド、カ ムルディン、 Daria L. Manalo、 Miranda Mary、 Lapiz Stella、 Tapdasan Emerson、 Petspophonsa kul Wilaiwan、 井上 智、 朴天鎬、 Khawplod Pakamatz、 西園 晃</p>	<p>第157回日本獣医学会 学術集会、北海道大学 高等教育推進機構、札 幌市、北海道</p>	<p>2014年9月9日- 12日</p>	<p>国内</p>
<p>官学連携による狂犬病診断体制の構築。</p>	<p>松浦真翔、 鶴田一郎、 坊蘭慶信、 山田健太郎、 井上智、 三澤尚明</p>	<p>平成26年度獣医学術 九州地区学会、鹿児島 県民交流センター、鹿 児島市、鹿児島県</p>	<p>2014年10月4日</p>	<p>国内</p>
<p>細胞増殖を指標とした細胞内抗体選択法の開発。</p>	<p>景岡美穂、 李松熹、 加来義浩、 井上 智、 長棟輝行、 河原正浩</p>	<p>2014年度細胞アッセイ 研究会シンポジウム 「細胞アッセイ技術の 現状と将来」、東京大 学生産技術研究所コン ベンションホール、東 京都</p>	<p>2015年1月13日</p>	<p>国内</p>

<p>シンポジウム3 病原性真菌の感染成立機構 クリプトコックスの莢膜多糖による免疫回避機構の解析及びその制御法の開発、口頭</p>	<p>金城雄樹, 上野圭吾, 浦井 誠, 金子幸弘, 大久保陽一 郎, 清水公德, 大野秀明, 亀井克彦, 川本 進, 澁谷和俊, 宮崎義継</p>	<p>第58回日本医真菌学会 総会・学術集会</p>	<p>2014年11月</p>	<p>国内</p>
<p>アスペルギルスの抗真菌薬耐性、口頭</p>	<p>梅山 隆, 山越 智, 田辺公一, 名木 稔, 大野秀明, 宮崎義継</p>	<p>第58回日本医真菌学会 総会・学術集会</p>	<p>2014年11月</p>	<p>国内</p>
<p>マクロファージの貪食を指標としたCryptococcus gattii感染病態の評価、ポスター</p>	<p>壇辻百合香, 大野秀明, 梅山 隆, 上野圭吾, 大久保陽一 郎, 田辺公一, 名木 稔, 山越 智, 金城雄樹, 杉田 隆, 澁谷和利, 宮崎義継</p>	<p>第58回日本医真菌学会 総会・学術集会</p>	<p>2014年11月</p>	<p>国内</p>

<p>高病原性 Cryptococcus gattii の感染防衛に寄与する樹状細胞ワクチンの作用、ポスター</p>	<p>上野圭吾, 金城雄樹, 大久保陽一郎, 清水公德, 金子幸弘, 浦井 誠, 川本 進, 亀井克彦, 大野秀明, 澁谷和俊, 宮崎義継</p>	<p>第58回日本医真菌学会 総会・学術集会</p>	<p>2014年11月</p>	<p>国内</p>
<p>高病原性 Cryptococcus gattii の莢膜多糖成分が免疫細胞に及ぼす影響、ポスター</p>	<p>浦井 誠, 金子幸弘, 上野圭吾, 田辺公一, 梅山 隆, 山越 智, 金城雄樹, 大野秀明, 杉田 隆, 宮崎義継</p>	<p>第58回日本医真菌学会 総会・学術集会</p>	<p>2014年11月</p>	<p>国内</p>
<p>カンジダ症における薬剤耐性、口頭</p>	<p>田辺公一, 宮崎義継</p>	<p>第97回日本細菌学会関 東支部総会</p>	<p>2014年10月</p>	<p>国内</p>